

■平成22年度 後期「音楽科特別講座」九州会場

平成23年2月5日(土)

会場 福岡市立赤坂小学校

主催 音楽教育推進協議会

参加人数:60名

全体講座1講座

選択講座7講座

後援

文部科学省

福岡県教育委員会 佐賀県教育委員会
長崎県教育委員会 熊本県教育委員会
鹿児島県教育委員会 宮崎県教育委員会
大分県教育委員会 沖縄県教育委員会
福岡市教育委員会 北九州市教育委員会
九州音楽教育研究会
九州・沖縄各県音楽教育研究会
鹿児島県音楽教育連盟

協賛

ヤマハ株式会社

全体講座

「目からウロコ! 身近な楽器 ピアニカってこんなに凄い!」

松田 昌 (名古屋音楽大学客員教授・ピアノ奏者)

ピアノの特徴と基本奏法、表現の工夫を楽しいお話と演奏を交えながらの研修。最後にミニコンサートでピアノの良さと隠された可能性を引き出し、参加者を魅了した。



<参加者アンケートより>

- ・ピアノがこんなに楽しい、素晴らしいものとは初めて知った
- ・まさに「目からウロコ」で、子どもたちに楽しい音楽を届けられそうです
- ・楽しいお話と素晴らしい演奏! ということなしです
- ・低学年の楽器! という雰囲気子どもたちにあるので高学年にもカッコ良さを伝えたい。
- ・今まで音符を正しく吹かせることばかり考えてきたが、音楽には強弱や長さなど沢山の要素があり、初めて触れる低学年のうちから、そういうところにも意識を向けて吹かせることの大事さを気付かせてくれた。

■ワークショップ A

音楽遊び あそぶ? 学ぶ?

加藤 幸平 (音楽教育推進協議会 理事)

- ・学習指導要領の確認
- ・リズム遊びからの発展
- ・教材楽器の活用
- ・音楽づくり

遊びの中に隠された学びの要素を引き出すアイデアいっぱいの楽しい講座で教材楽器も使いながら基礎・基本から系統立てた発展性のある講座が展開された



<参加者アンケートより>

- ・楽しかったし、すぐに授業でもやってみたい
- ・楽しさと面白さの境目に学びの要素があることがわかった
- ・低学年のうちに多くの経験をつませることで、拍の流れ、拍子のとり方、音→音階がスムーズに学べることが分かった
- ・音楽づくりを研究しており、共通事項を取り入れた活動のアイデアの幅が広がらなかったが、今日のいろいろな遊びの中から少しずつ実践してみたい

■ワークショップ B

ワクワク打楽器！

木村 美千子 （打楽器奏者 指導者）

- ・持ち方、構え方を注意して欲しい楽器
- ・色々な音づくり
- ・うたいながら演奏してみましょう

打楽器の基本的な奏法から、音楽を引き立たせる簡単で効果的な表現方法を実際に演奏しながら研修した。



＜参加者アンケートより＞

- ・音楽室に楽器はあっても、何でたたくか、どう打つか、音の出し方など分からないものがいくつもあったので、とても役に立った
- ・棚に眠っていた楽器が使えるのでうれしい
- ・ちょっとした持ち方の違いで音色が違ってくるのがおもしろかった

■ワークショップ C

合唱指導のポイント

児玉 智 （都城泉ヶ丘高等学校 教諭）

- ・学習指導要領の確認
- ・身近な教材で歌唱指導を楽しく演出しましょう（輪唱、パートナーソング）
- ・私の指導法

基本的な声の出し方や、豊かに表現できるようにするためのポイントを学んだ。



＜参加者アンケートより＞

- ・息の出し方、使い方など子どもたちに伝えるのが難しく困っていたが、今回習った方法でがんばってみたい
- ・小規模校なので、小人数の合唱は寂しいと思っていたが、今日少ない人数でも先生方とこんなに素的な合唱が出来た！と子どもたちに伝えたい
- ・ここ5年間、歌を歌っておらず声が出なかったのに、今日先生の指導で出るようになったので信じられない気持ちでいっぱい

■ワークショップ D

楽しいピアノ 導入～展開

高木 容子 （音楽教育推進協議会 講師）

- ・導入の工夫
- ・展開の工夫

子どもたちがピアノを好きになる導入法や、授業での活動方法を学んだ。



＜参加者アンケートより＞

- ・優しく楽しく教える術を教えていただけた
- ・具体的ですぐに使える技、曲、言葉かけがとても良かった
- ・基礎の大切さが分かり、子どもたちと楽しく音楽が出来そう

■ワークショップ E

リコーダーって面白い！ 導入からアンサンブル

塩月 千尋 （音楽教育推進協議会 講師）

- ・リコーダーの導入法
- ・アンサンブルの実際

子どもたちとリコーダーの楽しい出会いから表現を深めるアンサンブルを研修した。



<参加者アンケートより>

- ・分かりやすく、丁寧に、順序良く指導いただけた
- ・リコーダーは結構得意だと思っていたが、まだまだやるべきがあり、もっと勉強したい
- ・アルトを小学校でも少し取り入れ、合奏の幅を広げたいと思う
- ・導入はつい説明を多くやりがちなので、今日やったようなことを最初必ずやりたい

■ワークショップ F

指揮のテクニック！

笹森 敏明 （指揮者、作・編曲家）

- ・指揮者の視線
- ・呼吸について
- ・右手、左手の使い方

表情豊かに子どもたちが演奏できる指揮法を実践をまじえて楽しく研修した。



<参加者アンケートより>

- ・指揮の基本からアレンジのつけ方まで、限られた時間でとても内容が濃かった
- ・2時間では足りず、まだまだ指導していただきたい
- ・恥ずかしかったが、実際に指揮をさせていただけてよかった
- ・表情をスムーズにつけられるように基本の練習を地道にやろうと思う

■ワークショップ G

教材をつくらう！

森口 昭廣 （音楽教育推進協議会 理事）

- ・掲示物
- ・楽譜
- ・テキスト等
- ・音源や映像



<参加者アンケートより>

- ・掲示物やカード作りなどいままでしらないことがたくさんあった
- ・データを早速活用し、子どもたちにとって分かりやすい授業にしていきたい
- ・これからのパソコンでの教材作りが進みそう